

石川町過疎地域持続的発展計画（素案）にお寄せいただいた御意見と本町の考え方

1. 意見募集の期間 令和3年8月2日（水）～8月20日（金）
2. 意見の件数 3件（2名）
3. 意見の内容とそれに対する本町の考え方

No.	意見等	町の考え方
1	事業計画中の持続的発展施策の具体的内容が多いことから、計画倒れにならないか。項目を絞って進めた方が効果が上がるのではないか。また、財源はどのように確保して進めるのか。	<p>本計画(R3～R7)」は、町の第6次総合計画(R1～R10)との整合性を図りながら策定作業を進めており、持続的発展施策の具体的な内容を掲載しております。</p> <p>また、事業実施にあたっては、これまで同様に国県補助等を積極的に活用し推進していく考えであります。</p>
2	母畑レークサイドセンターについて、閉店している母衣旗等をリニューアルし、道の駅または病院として有効活用できないか。また、遊具等も不足していると思う。	<p>本計画は町の持続的発展に向けた総合的な対策をまとめているものであり、母畑レークサイドセンター内のレストハウス母衣旗については、現在、トライアルサウンディング等により施設の利活用方策について検討しているところであります。</p>
3	旧石川町公民館と旧町体育館、歴史民俗資料館跡地を災害時の避難場所として有効活用を図れないか。	<p>石川町公共施設等総合管理計画におきましては、施設の集約化や複合化を進め、老朽化した施設から縮減し、施設保有量の最適化を図ることとしております。</p> <p>また、石川町地域防災計画におきましては、県立石川高等学校の校庭を避難場所、体育館を指定避難所として位置付け、住民の安全を確保するものとしており、跡地の利用につきましては今後の施策展開の参考とさせていただきます。</p>